

# 道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和2年 11月17日(火) NO. 6



11月10日(火)に「道徳自主研究会」と題して、市内の小中学校の先生方も交え、授業研究が行なわれました。協力してくれた1年7組、2年4組、3年4組の皆さん、ありがとうございました。今回の道徳通信では、そのときの授業の様子をご紹介します。

## 1年生の授業 「お椀の花びら」より



主人公の家は輪島塗の「塗師屋」である。父親も祖父も輪島塗の漆器を大切にしている。ある日、主人公は祖父のお椀を食器洗い機に入れてしまう。他の食器は食器洗い機に入れても大丈夫だが、熱と乾燥に弱い輪島塗のお椀は割れてしまった。「今どき食器洗い機を使えないお椀なんて不便だよ。」と言う主人公に対し、父親はそのお椀がどのように作られていたのかを話す。時代に左右されないものの良さに気付いた主人公は、その後、家族全員で輪島塗のお椀を使うようになる…というお話です。

### ～授業の振り返りから～

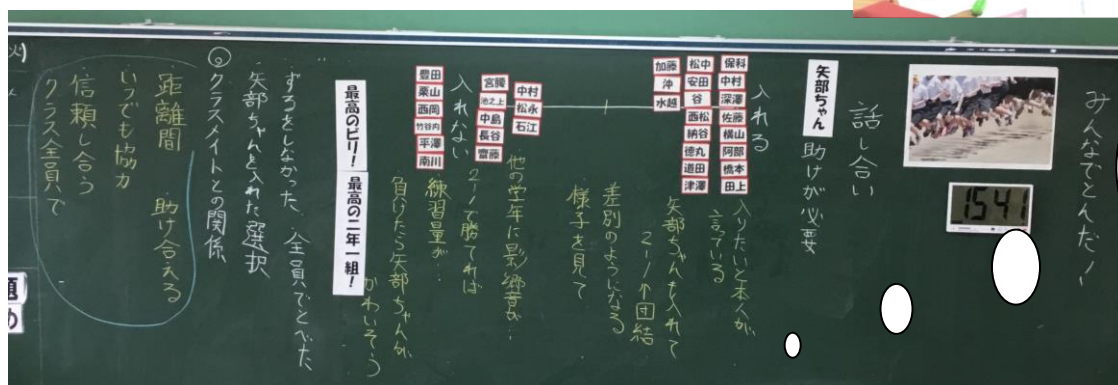


物に対しての考え方が変わりました。これからは作った人の気持ちを考えて大切に使用したいと思います。

物を大事にすることで愛着がわくし、物が長持ちしたりなど、とてもいいことが沢山ある。使いすてだったら、手間をかけない分、簡単に捨てられるし、適当に使ったりするだろうけど、長い間使うものは「長持ちするように…」など考えたりすることがある。それはとても大事なことであると思った。

## 2年生の授業 「みんなでとんだ！」より

運動会の学年種目「大縄とび」で1位を目指して練習していた2年1組は、勉強や運動面で助けが必要な矢部ちゃんを入れずにとぶか、矢部ちゃんを入れて全員でとぶかを話し合う。矢部ちゃんの思いも聞きながら、クラスにいる生徒の様々な思いが語られていく。その中で、最終的には「みんなでとぶ」ことを選択し、本当の友情とは何かについて知る…というお話です。自分だったらどうするか、と考えながら学びを深めていきました。



自分の意見を黒板にネームプレートで位置づけしています！

# 3年生の授業 「しあわせ」より

今日の給食はマーボ豆腐。タマゴマンは豆腐の料理が苦手だ。しかし、アナゴマンはマーボ豆腐が1番好きだ。このことをきっかけに彼らの学級でさまざまな意見が飛び交う。すると担任の先生が宮沢賢治の言葉を取り上げながら、「クラス中の人々が幸福にならない限り個人の幸福はありえない。」「難しいことだけど、とても大切な考え方だ」「給食を材料にして、そのことを考えてみてください。」と言う。そして、最後に「みんなの考え方のちがいを知ることが、全体のしあわせを考えるスタートです。今日の話し合いは、その小さなスタートになったような気がします。」と締めくくった。

## ～授業の振り返りから～

考えの違う人と生きていく上で、相手の意見を認め、それについて自分の考えを持ち、接していくことが大切だと思いました。今回の話のように、自分は良いけれど、相手にとっては嫌なことや、逆に相手は良いけれど、自分にとっては嫌なことがあるように、人それぞれ別々の考え方があるので、自分も、相手も、お互いの価値観の違いを認め合うことが大切だと思いました。

人の価値観はそれぞれ違うので、自分と意見がちがっていても、かたっぱしから否定せずに「そういう人もいるんだな」と認めてあげることが大切だと思いました。相手のことを理解してあげることによって、物事をいろいろな目線から見ることができるようになると思います。

自分と違うどんな意見でもちゃんと聴いて、否定せずまず受け入れる。それからその意見もふまえて考え、その意見に対しての結論（自分の考え、賛成 or 反対）を言う。このような議論をすることで、相手の意見をきいて自分の意見も変わったりして、よりよい意見や目標を見つけることができるから、まず否定せずに受け入れることが大切だと思う。

考えのちがう人の考えもしっかりと認めて、でもそれが犯罪とか悪い方向へと向かうようなことだったりしたら、それは否定することは必要だし、たとえ悪い考えでなかったとしても、自分の考えと異なるときは、認めてから、私は違う考えがあるっていうことを伝えることは必要だと思いました。

幸せな人が1人でも増えるように、自分の意見と相手の意見を比べて、良い解決策を考えて導けるよう努力することが大切。

